

6月は土砂災害防止月間

生命を守るための備え

梅雨入りを迎えるにあたり、集中豪雨などによる洪水や土砂崩れなどの災害が予想されます。

災害時には「自分の身は自分で守る」が大原則です。いざというときに備えましょう。

問合せ 危機管理課 ☎33-4112

事前の備えが生命を守るカギ

大雨・洪水などの警報や 防災情報に注意

梅雨期や台風が接近している時などは、大雨・洪水警報や土砂災害警戒情報、河川水位情報に注意しましょう。テレビやラジオ、インターネットなどでこまめに防災情報を収集しましょう。

市の緊急情報配信メールなどをぜひ登録してください。

※携帯電話やスマートフォン・パソコンからメールアドレスを入力し空メールを送ってください。



日頃から住んでいる地域の 危険度を把握しましょう

がけや溪流付近など、土砂災害によって生命や身体に危害を生じる恐れがあると認められる場所は、県が土砂災害危険箇所や土砂災害警戒区域などに指定しています。4月に各世帯に配付しました八代市防災マップで土砂災害などのハザードマップを参照して、住んでいる場所が土砂災害危険箇所などに当たるかどうか、また平野部においても洪水、高潮などが発生した場合、どの位浸水するのかあらかじめ確認しておきましょう。

※パソコン、スマートフォンなどでも防災マップを確認できます。



▲八代市 WEB版
防災マップ

避難場所と避難経路の確認

地域の避難所や安全な避難経路を確認し、家族の集合場所や安否確認の方法も決めておきましょう。

備蓄品（非常持出品）の 準備をしましょう

災害直後からの混乱が収まるまでの数日間、生活するためには備蓄品や非常持出品の準備が必要です。非常持出品については、必要なものや量はそれぞれ異なりますので、個人に合わせた準備を行いましょ

効率的な備蓄方法

最低3日分の確保が必要となる「非常食」は、賞味期限により購入と廃棄を繰り返すことが多いため、おすすめなのが「ローリングストック法」です。日にちを決めて、定期的にレトルト食品などを消費し、その分をあらかじめ補充するという方法です。



防災意識を高めましょう

災害発生時には、防災関係機関の職員も被災し、直ちに対処することが困難となる恐れがあります。このため、市民一人一人が、「自分の住む地域は自分が守る」との当事者意識を持ち、災害に関する正しい知識や災害予防・災害応急措置など防災意識

を持つことが重要です。

また、自分たちの暮らしている地域がどのような災害リスクを有しているかを認識し、自主防災組織や町内会などで地域の実情に合わせた防災訓練を実施したり、日頃から地域での行事や活動などを通じて、コミュニケーションを図り、協力しあう関係を築くなど、災害から身を守るための行動を身につけておきましょう。

自主防災組織の結成などについては危機管理課に相談ください。

川の防災情報

全国の河川の水位や雨量の状況が確認できます。

- パソコン版 <http://www.river.go.jp/>
- スマートフォン版 <http://www.river.go.jp/s/>

洪水情報が緊急速報メールで受信できます

国が管理する球磨川で氾濫の危険が高まった時に、緊急速報メールが自動で発信されます。メールを受信したら、雨の降り方や球磨川の水位を「川の防災情報」で確認しましょう。また、避難の判断に役立てるため、市内の球磨川に水位計を17カ所増設しましたので、こちらも確認ください。

- 川の水位情報 <https://k.river.go.jp>

問合せ 国土交通省八代河川国道事務所 ☎32-7551